

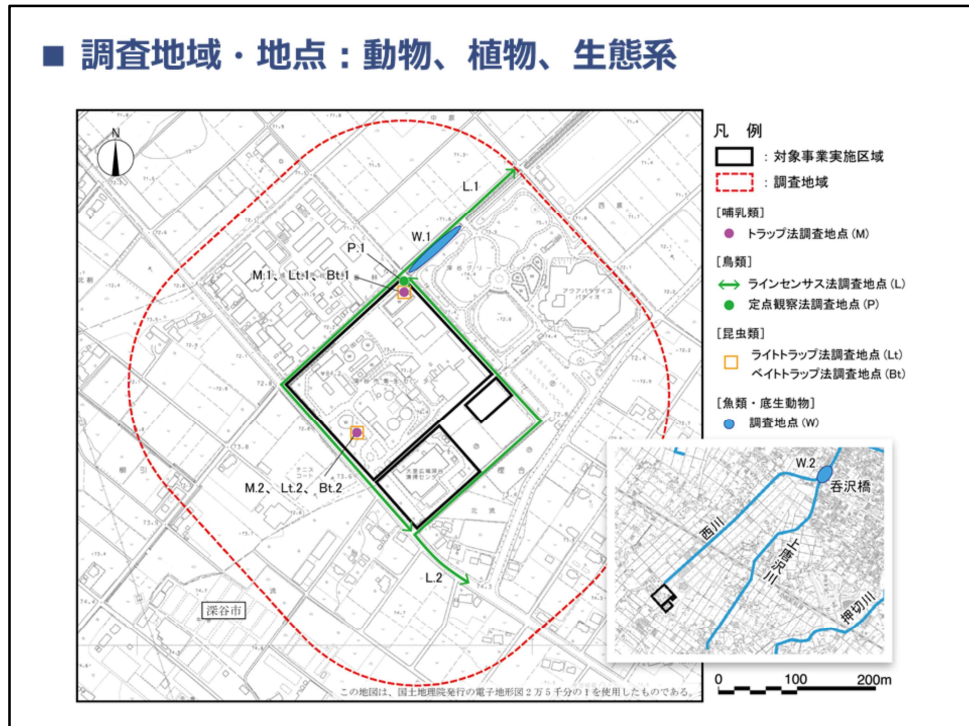
4-1. 調査（4）

調査項目		調査地域・地点	調査期間等
動物	哺乳類	対象事業実施区域及びその周囲約200mの範囲	春季、夏季、秋季、冬季
	鳥類		春季、初夏（繁殖期）、秋季、冬季
	爬虫類		春季、初夏、秋季
	両生類		早春季、初夏、秋季
	水生生物（魚類・底生動物）		春季、夏季、秋季、冬季
植物	植物相、大径木	対象事業実施区域及びその周囲約200mの範囲	春季、夏季、秋季
	植物群落		夏季
生態系	地域を特徴づける生態系	対象事業実施区域及びその周囲約200mの範囲	動物、植物調査に準ずる

動物・植物・生態系の現地調査について、御説明いたします。

動物は、哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、水生生物（魚類・底生動物）、植物は、植物相、大径木、植物群落について、対象事業実施区域の周囲200メートルの範囲で、それぞれの項目ごとに確認適期に現地調査を実施します。

■ 調査地域・地点：動物、植物、生態系



こちらが、動物・植物・生態系の調査地域とトラップ等を設置する調査地点となります。

なお、水生生物については、対象事業実施区域からの雨水排水が流れる西川と、その先の上唐沢川と合流する地点付近で、調査を実施します。

4-1. 調査 (5)

	調査項目	調査地域・地点	調査期間等
日照障害	日影の状況	日照への影響が及ぶおそれがあると認められる地域	冬至日またはその前後の時期に1回
電波障害	電波の受信状況	電波受信への影響が及ぶおそれがあると認められる地域	1回

日照障害と電波障害についても、適切な時期・地域において現地調査を実施します。

4-2. 予測

- ・理論に基づく計算、事例の引用又は解析その他の方法により**定量的に予測内容を把握することができる方法**（定量的に把握することが困難な場合は定性的な方法）により行います。

予測項目	影響要因		予測内容
大気質	工事	建設機械の稼働	二酸化窒素、粉じん
		資材運搬等の車両の走行	二酸化窒素、浮遊粒子状物質、炭化水素
	存在・供用	施設の稼働	二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、塩化水素、ダイオキシン類、水銀
		自動車等の走行	二酸化窒素、浮遊粒子状物質、炭化水素
騒音・低周波音	工事	建設機械の稼働	建設作業騒音レベル
		資材運搬等の車両の走行	道路交通騒音レベル

予測について御説明いたします。

予測は、理論に基づく計算、事例の引用又は解析その他の方法により定量的に予測内容を把握することができる方法（定量的に把握することが困難な場合は定性的な方法）により行います。

影響要因と予測内容を整理して表で示しています。

大気質については、建設機械稼働による二酸化窒素、粉じんの予測を行います。

また、車両の走行に伴う影響を予測するため二酸化窒素、浮遊粒子状物質、炭化水素について予測します。

施設の稼働に伴う煙突排ガスの二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、塩化水素、ダイオキシン類、水銀の濃度および自動車走行時の二酸化窒素、浮遊粒子状物質、炭化水素を予測します。

騒音は、施設の稼働に伴う施設騒音、建設作業騒音、道路交通騒音について予測します。

4-2. 予測 (2)

予測項目		影響要因	予測内容
騒音・ 低周波音	存在・供用	施設の稼働	施設騒音レベル、低周波音 圧レベル
		自動車等の走行	道路交通騒音レベル
振 動	工事	建設機械の稼働	建設作業振動レベル
		資材運搬等の車両の 走行	道路交通振動レベル
	存在・供用	施設の稼働	施設振動レベル
		自動車等の走行	道路交通振動レベル
悪 臭	存在・供用	施設の稼働	特定悪臭物質、臭気指数
水 質	工事	造成等の工事	浮遊物質、水素イオン濃度
土 壌	工事	造成等の工事	土壌の汚染に係る第二種特定 有害物質
			土壌中のダイオキシン類
	存在・供用	施設の稼働	土壌中のダイオキシン類

低周波音は、施設稼働時の低周波音圧レベルについて予測を行います。

振動も騒音に準じた形で予測を行います。

悪臭については、施設の稼働に伴う特定悪臭物質及び臭気指数について予測を行います。

水質は、工事中の排水を対象として、浮遊物質及び水素イオン濃度について予測を行います。

土壌は、土壌汚染状況調査の結果を援用しながら、対象事業実施区域内の土壌汚染の状況について予測を行います。また、煙突排ガスに起因するダイオキシンの土壌への沈着量について予測を行います。

4-2. 予測 (3)

予測項目	影響要因		予測内容
動物	工事	建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行、造成等の工事	保全すべき種の生息地の改変の程度及びその他の生息環境への影響の程度
	存在・供用	施設の稼働	
植物	工事	造成等の工事	保全すべき種の生育地の改変の程度及びその他の生育環境への影響の程度
	存在・供用	施設の稼働	
生態系	工事	建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行、造成等の工事	着目種と関係種との関係への影響の程度、着目種及び関係種の生息・生育環境への影響の程度
	存在・供用	施設の稼働	
景観	存在・供用	施設が存在	眺望景観
自然とのふれあいの場	工事	建設機械の稼働、資材運搬等の車両の走行	自然とのふれあいの場の利用環境の変化の程度 自然とのふれあいの場への交通手段の阻害のおそれの有無及びその程度
	存在・供用	施設が存在、施設の稼働	

動物・植物・生態系については、想定される影響要因を踏まえ、保全すべき種の生息地・生育地の改変の程度及びその他の生息・生育環境への影響の程度、着目した種と関係する種への影響の程度などを予測します。

景観については、眺望景観といたしまして、フォトモンタージュを作成することにより予測を行います。

自然とのふれあいの場については、深谷グリーンパークを対象に、利用環境の変化、交通手段の阻害のおそれの有無などを予測します。

4-2. 予測 (4)

予測項目	影響要因		予測内容
日照障害	存在・供用	施設の存在	冬至日における日影となる時刻、時間数等の日影の状況及び周囲の住宅及び農地への日影の影響の程度の変化
電波障害	存在・供用	施設の存在	電波障害の範囲及び電波受信状況の変化の程度
廃棄物等	工事	造成等の工事	廃棄物の種類及び種類ごとの排出量 廃棄物の排出抑制の状況 残土の発生量及び処理の状況
	存在・供用	施設の稼働	廃棄物の種類及び種類ごとの排出量 廃棄物の排出抑制の状況
温室効果ガス等	工事	建設機械の稼働 資材運搬等の車両の走行	温室効果ガスの種類ごとの排出量 温室効果ガスの排出量削減の状況
	存在・供用	施設の稼働 自動車の走行	温室効果ガスの種類ごとの排出量 温室効果ガスの排出量削減の状況

日照障害については、冬至日における日影となる時刻と、日影の状況及び周囲の住宅、農地への日影の影響の程度の変化を予測します。

電波障害については、電波障害の範囲及び電波受信状況の変化の程度を予測します。

廃棄物等については、工事中及び施設の供用時の廃棄物の種類及びその種類ごとの排出量、廃棄物の排出抑制の状況を予測します。工事中については、残土の発生量及び処理の状況についても予測します。

温室効果ガス等については、工事中及び施設供用時の温室効果ガスの種類ごとの排出量、それらをどの程度削減できるかを予測します。

4-3. 評価

- ・予測した項目ごとに、以下の二つの手法で行います。

評価の手法	
回避・低減に係る評価	周辺環境に及ぼす影響が、事業者の実行可能な範囲でできる限り回避され、又は低減されているかどうかを明らかにします。
基準又は目標との整合に係る評価	国、埼玉県又は深谷市が定めた基準、目標等と予測結果との間に整合が図られているかどうかを明らかにします。

評価について御説明いたします。

評価は予測した項目ごとに二つの手法で行います。

一つが回避・低減に係る評価として、周辺環境に及ぼす影響が、事業者の実行可能な範囲でできる限り回避され、又は低減されているかどうかを明らかにします。

もう一つが基準又は目標との整合に係る評価として、国、埼玉県又は深谷市が定めた基準、目標等と予測結果との間に整合が図られているかどうかを明らかにします。